



南部町

# 議会だより



<http://www.town.nanbu.yamanashi.jp/>



栄小学校運動会



曼珠沙華

9月定例会

- ◆ 平成24年度一般会計・特別会計補正予算 (P2~3)
- ◆ 平成23年度一般会計・特別会計決算 ..... (P4~6)
- ◆ 監査委員の意見書 ..... (P7)
- ◆ 総括質疑 ..... (P9)
- ◆ 委員会レポート ..... (P10~13)
- ◆ 南部町教育に関する事務の点検及び評価報告 (P13)
- ◆ 3議員が町政を問う ..... (P14~16)

# 2億3,658万1千円を追加

◦ 災害復旧工事費	1億5,941万円
◦ 町道改良工事関係費	1,510万円
◦ 障害児福祉サービス関係費	460万円
◦ 火葬業務委託料	340万円
◦ 優良賃貸住宅修繕費	150万円

## 一般会計

補正額は、2億3,658万1千円を追加し、予算の総額は、55億8,333万2千円です。  
主な使いみちは、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、土木費、消費費、教育費、災害復旧費等です。  
(賛成・全員)

平成24年9月定例会は、7日に開会し、報告2件、条例4件、規約変更1件、契約2件、一般会計補正予算、特別会計補正予算6件、一般会計決算認定、特別会計決算認定9件、人事案件2件、発議4件、合計32件のすべてを可決し、19日閉会した。



町道真篠線災害復旧工事場所



町道本郷柳島線災害復旧工事場所

# 6会計総額 7,932万円を追加

- 介護保険国庫返還金及び一般会計繰出金 4,218万円
- 国民健康保険国庫負担金返還金 1,777万円
- 東部簡易水道改良費 676万円
- 後期高齢者医療一般会計繰出金 176万円
- 富沢財産区造林費 123万円

**事業勘定**

**国民健康保険**

補正額は、263万6千円を追加し、予算の総額は、6,062万5千円です。主な使いみちは、一般会計繰出金です。

(賛成・全員)

**指定居宅サービス**

補正額は、609万8千円を追加し、予算の総額は、4億246万3千円です。主な使いみちは、當繕費等です。

(賛成・全員)

**簡易水道**

金等返還金、一般会計繰出金等です。

主な使いみちは、国庫負担

補正額は、2,434万3千円を追加し、予算の総額は、9億3,787万8千円です。



**介護予防リハビリ器具**

委託料です。

(賛成・全員)

**富沢財産区**

補正額は、123万1千円を追加し、予算の総額は、53万8千円です。

(賛成・全員)

**後期高齢者医療**

補正額は、176万8千円を追加し、予算の総額は、2億6,360万8千円です。主な使いみちは、一般会計繰出金です。

(賛成・全員)

**介護保険**

金等返還金、一般会計繰出金等です。

# 黒字決算で健全財政を堅持

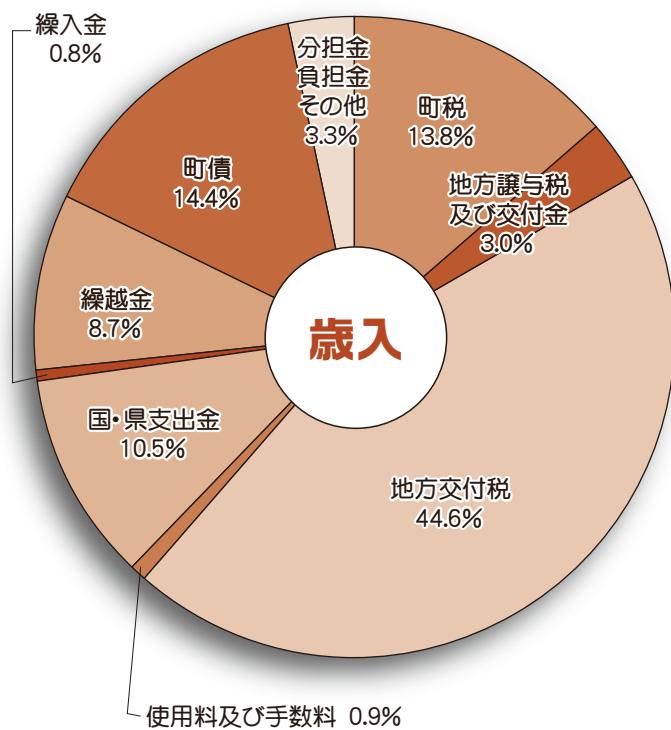
決算額は、歳入総額72億800万円、歳出総額66億1,447万円、歳入歳出差引額は、5億9,353万円で、黒字決算となりました。

＝この決算は平成23年4月から平成24年3月までの状況です。＝

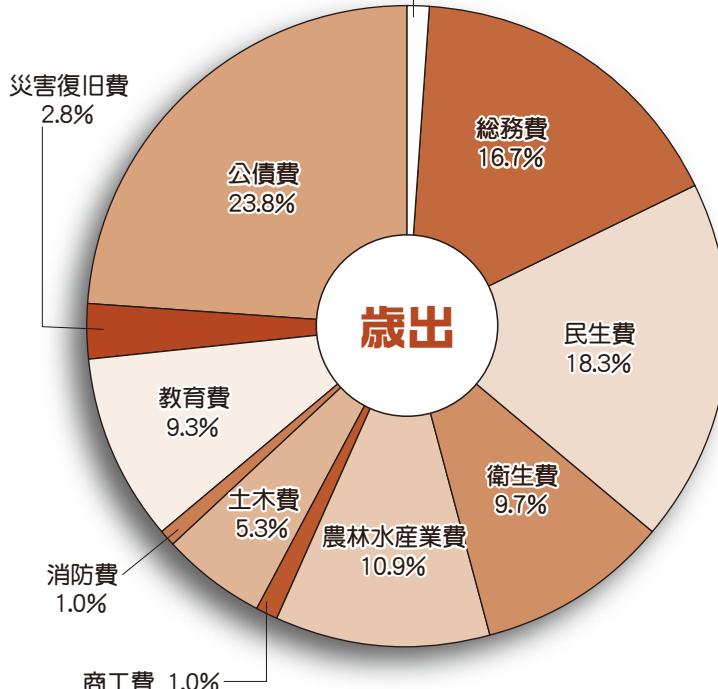
## 歳入

**72億800万円**

科目名	歳入
町 税	9億9,325万円
地方譲与税及び交付金	2億1,877万円
地 方 交 付 税	32億1,541万円
使用料及び手数料	6,779万円
国・県支 出 金	7億5,674万円
繰 入 金	5,563万円
繰 越 金	6億2,576万円
町 債	10億3,740万円
分担金・負担金・その他	2億3,725万円



## 一般会計



## 歳出

**66億1,447万円**

科目名	歳出
議会費	7,941万円
総務費	11億0,204万円
民生費	12億1,191万円
衛生費	6億4,324万円
農林水産業費	7億1,921万円
商工費	6,639万円
土木費	3億4,871万円
消防費	6,893万円
教育費	6億1,260万円
災害復旧費	1億8,570万円
公債費	15億7,633万円

# 9会計の歳出総額は27億2,960万円

- 介護保険給付費 8億5,271万円
- 国民健康保険給付費 5億6,507万円
- 後期高齢者医療費 1億1,862万円
- 水道施設整備費 4,338万円

会計名	歳入	歳出	差引額
簡易水道事業特別会計	3億2,518万円	3億1,854万円	664万円
指定居宅サービス特別会計	5,748万円	5,484万円	264万円
国民健康保険特別会計	事業勘定 10億3,458万円	9億1,132万円	1億2,326万円
	南部診療施設勘定 1億8,927万円	1億7,488万円	1,439万円
	万沢診療施設勘定 9,309万円	7,713万円	1,596万円
介護保険特別会計	9億8,764万円	9億5,048万円	3,716万円
後期高齢者医療特別会計	2億4,072万円	2億3,895万円	177万円
睦合財産区特別会計	71万円	53万円	18万円
富沢財産区特別会計	378万円	260万円	118万円
大城平外二山恩賜林保護財産区特別会計	59万円	20万円	39万円
大日向外三山恩賜林保護財産区特別会計	15万円	13万円	2万円
合計	29億3,319万円	27億2,960万円	2億0,359万円

## 特別会計

等です。歳入の主なものは、介護サービス費収入、一般会計繰入金です。歳出の主な使いみちは、介護サービス事業費、居宅介護支援事業費、一般会計繰出金等です。

(賛成・全員)

### 指定居宅サービス

(賛成・全員)

歳出の主な使いみちは、東部簡易水道改良費84万円、西部簡易水道改良費1,704万3千円、中央簡易水道改良費1,900万7千円、償還金2億5,33万4千円等です。

歳入の主なものは、使用料及び手数料、一般会計繰入金等です。

### 簡易水道

# 国民健康保険

## 南部診療施設勘定



診療所医療機器

**事業勘定**  
歳入の主なものは、国民健康保険税、国庫支出金、医療給付費交付金等です。  
歳出の主な使いみちは、保険給付費5億6,502万2千円、共同事業拠出金1億1,552万5千円、介護納付金511万8千円等です。

歳入の主なものは、診療収入、繰越金等です。  
歳出の主な使いみちは、医薬品、医療用機械器具費、一般管理費等です。

## 万沢診療施設勘定

歳入の主なものは、診療収入、繰越金等です。  
歳出の主な使いみちは、医薬品、医療用機械器具費、一般管理費等です。

(賛成・全員)

## 陸合財産区

歳入は、他会計繰入金と、繰越金です。  
歳出は、管理費、事業費です。

(賛成・全員)



間伐予定の森林

- 繼続費精算報告  
4年間の継続で実施した、情報通信基盤施設整備事業が完了し、計画額と実績額の差額が388万3,089円となる継続費の精算報告があつた。

# 介護保険

歳入の主なものは、保険料支払い基金交付金、国、県、支出し金等です。  
歳出の主な使いみちは、保険給付費、地域支援事業費、諸支出金等です。

歳入は、財産収入、繰入金、繰越金、諸収入です。  
歳出は、管理費、事業費です。

(賛成・全員)

# 富沢財産区

歳入は、団体支出金、繰入金、繰越金、諸収入です。  
歳出は、管理費です。

(賛成・全員)

## 大城平外一一山恩賜林保護財産区

歳入は、団体支出金、繰越金、諸収入です。  
歳出は、管理費です。

(賛成・全員)

## 報告

- 平成23年度決算に基づく、南部町健全化判断比率及び、資金不足比率の報告

地方公共団体の、財政健全化に関する法律の規定により、平成23年度決算に基づく、南部町健全化判断比率及び、資金不足比率について、監査委員の審査意見書を付して報告されたが、南部町の健全化比率、資金不足比率は、ともに問題のない正常数値でした。

## 大日向外三山恩賜林保護財産区

歳入は、団体支出金、繰入金、繰越金、諸収入です。  
歳出は、管理費です。

(賛成・全員)

## 監査委員の意見書

平成23年度決算審査が行われ、監査委員より意見書が提出された。

1、審査の概要

一般会計および、特別会計

## 2、審査の手続き

予算の執行が法令の規定に基づき、計画的かつ効率的に行われているか、また、係数の正確性等について検査した。

4、決算の概要

一般会計、特別会計歳入歳出ともに関係法令に基づき、計画的に執行され、正当なものとして認められた。

### 3、審査の結果

(1) 一般会計決算額は、歳入72億801万2千円、歳出66億1,447万4千円、実質収支額は5億5,309万6千円の黒字が翌年度に繰越される。歳入の構成比率は、自主財源27.5%、依存財源72.5%であり、地方交付税等に頼らざるを得ない。町税は、景気の低迷、人口減、納入義務者

3億円の増額となつてゐるが、後年度の予算編成への影響を考慮し、基金積立てが望ましい。

額となつてい  
る。今後の行  
政運営を念頭  
に人件費、扶  
助費、公債費  
にかかる義務  
的経費に注視  
されたい。

基金全体の  
年度末現在高  
は、43億4千  
万円となり、  
前年度末より

の減少により  
いる。

年々落ち込んで

模は国勢調査の人口減により、前年度より1億500万円の減となり、財政力指数も単年度で0・277になり、このままでは更に低くなることが予想される。経常経費もここ3年間で初めて82・5%で前年度より5・3%高くなつて



#### 完成した告知放送ルーム



### 完成した町道西根熊線

9つの特別会計の合計決算額は、歳入29億3,319万4千円、歳出は27億2,960万4千円でいずれも黒字決算となり、収支の均衡が保たれた。全特別会計の実質収支額は、2億359万円で前年度に比べ5,749万1千円の増額となつてゐる。

2,325万7千円の黒字となり、基金への積立てを検討されたい。国保会計の財政安定のために、保険給付の抑制が不可欠であり、今後も特定健康診査の受診率アップを行うとともに、健康意識を高める事業展開を図られたい。

特に、簡易水道事業は、今後も効率的かつ計画的な事業運営と衛生的で安全な水の安定供給に努められたい。

また、国民健康保険事業は、国保税率の引き上げと医療費が抑えられたことから、1億

他会計については、問題がないが、いづれも健全財政を維持しながら、より良い町民サービスの向上のため、自主財源確保や徹底した事務事業の見直しによる健全運営の持続に取り組まれたい。

## 条例の改正・廃止

町の条例も廃止する必要が生じた。なお、受給者証の交付を受けているものが、施行日の平成25年4月1日以前に受けた医療費については、従前の例による。

- 南部町防災会議条例の一部改正

(賛成・全員)

- 南部町災害対策本部の一部改正

(賛成)

防災会議の組織強化と会議を諮問機関に位置づけ、災害対策を迅速に対応するため、意見を述べたり、構成員を20人から25人以内に改める。

(賛成・全員)

- 南部町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正
- 山梨県の助成事業費補助金要綱の所得制限が、緩和されたことから必要条文が加えられた。

(賛成・全員)

- 南部町老人医療費助成金支給条例の廃止
- 山梨県老人医療費助成制度が廃止されたことに伴い、本

## 条例の改正・廃止

町の条例も廃止する必要が生じた。なお、受給者証の交付を受けているものが、施行日の平成25年4月1日以前に受けた医療費については、従前の例による。

政府に求める。(賛成・全員)

- 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

政府に求める。(賛成・全員)

- 山梨県後期高齢者医療広域連合規約の変更

広域連合で組織する規約の変更に、関係する市町村議会の議決を経る必要があつた。

(賛成・全員)

## 意見書の提出

### 人 事

- 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の拡充を図るための意見書

- 人権擁護委員の推薦

将来を担い、社会基盤づくりにつながる子ども達への教育は極めて重要である。子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成等につなげる必要から、30人以下学級の推進、機会均等水準の維持向上及び、教育条件格差解消を

次の方に同意した。

南部町井出825番地1  
佐野武徳

南部町内船6,605番地  
四條巧



購入予定と同型のポンプ自動車

## 物品購入契約

2、契約金額  
1,634万7,460円

3、契約の相手  
甲府市伊勢一丁目5番16号  
(有)中村ポンプ工作所

### 発 議

- 町営バス  
1、契約の目的  
（乗車定員29人・1台）  
2、契約金額  
766万840円

- 消防ポンプ自動車  
1、契約の目的  
（南部町内船8,878番地  
（有）穗坂自動車工業）  
2、契約金額  
766万840円

- 南部町議会委員会条例の一部改正

○南部町議会会議規則の一部改正

○南部町議会議員の定数が、次期一般選挙から、議員数が2人削減されることとともに、委員会の委員の数を減じ、また、議案提出、修正動議成立に必要な賛成者の数、異議や要求するのに必要な人数を従前より1人づつ減じた。

(賛成・全員)

# 総括質疑

## 物品購入締結について

**問** 町営バス購入ですが、定員が29人だが、これだけの定員のバスが必要かどうか伺いたい。



買替予定の町営バス

**交通防災課長** 徳間・十島間の運行に利用するバスの買い替えです。  
朝夕の時間帯には、常時25人前後の学生が利用しているので、今回買い換える車両も同様の29人乗りとした。

**問** 防災会議の構成員が20人から25人になるという事ですが、どのような人を増員するのか、町外の専門家等を加える予定はあるか。

**町長** 他の町では、専門の防災官等を任命しているところもあるが、本町では、町内の経験豊かな人を選考したいと考えています。特に女性の方にも入ってもらいたいと考えています。

## 南部町防災会議条例の一部改正について

**問** 中野道の駅に開発基金を運用していると思うが、その面積の説明を。

**企画課長** 全16筆で9,040m<sup>2</sup>です。なお、昨年は、969m<sup>2</sup>でした。

**問** ふるさと納税についての説明を。

**住民課長** 退職者保険者高額療養費の増によるものです。団塊の世代の方が対象となる時期を迎えてるので、今後も増えるものと見込んでいます。

**問** 退職者被保険者等高額療養費で、今回500万円の補正が出ているが説明を。



陵草区中沢ヘリポート

**企画課長** 23年度は4件で235万円です。使途の指定のあつたものは、福祉保健課へ220万円、産業振興課10万円です。  
**福祉保健課長** 福祉保健課の指定寄付は、徳間と陵草地区へ建設したヘリポートの財源としました。

# 委員会レポート

各常任委員会に付託された議案を、  
9月11日・12日に慎重審議した。

## 総務建設常任委員会

**問** オフトーク通信使用料について説明を。

**答** オフトークによる広告放送の利用料で162件分です。なお、今年の3月15日から、現FM告知放送への切替え分、3月中の5件もこの中に含まれています。

**問** 情報通信設備貸付収入788万5,861円について説明を。

**答** 23年度に完成した、情報通信基盤施設整備事業、光ファイバーケーブルのIRU契約に基づく、NTTへの光伝送路施設に対する賃貸收入です。

**問** 身障者・高齢者を重視した防災訓練計画でなければならないと思うが、どう考えるか。

**答** 要援護者対応ですが、災害時に支援をする身障者

や高齢者の人的情報を把握するため、関係課等との連携を図り、災害発動体制の迅速化に、努めなければなりません。

**問** 23年度に宅地分譲した区画と販売実績について説明を。

**答** 23年度実績として、平1区画313.54m<sup>2</sup>、520万4,764円、杉山1区画330.59m<sup>2</sup>、19万3,540円、昭和町72万1,120円です。合計で1,390万9,424円です。

**問** 中野地域の道の駅施設の計画について、現在の状況について説明を。

**答** これまでに3回検討委員会を開催し、まとめて行っています。

**問** これまでに3回検討委員会を開催し、まとめて行っています。

**答** 検討委員会としては、イメージづくりから始まり、最低限、どのような箱物が必要かというところまで詰めてきました。

**問** 進入路についても国交省と協議中です。

**答** 町としては、JAふじかわ・商工会・森林組合との協議を考えています。



本郷区防災訓練

連絡を図りながら調整したこと、また、職種指定依頼であつたため、他の職員派遣はしませんでした。

明を。

**問** 23年度実績として、平1区画313.54m<sup>2</sup>、520万4,764円、杉山1区画330.59m<sup>2</sup>、19万3,540円、昭和町72万1,120円です。合計で1,390万9,424円です。

限延長について説明を。

答

平成24年6月過疎債及び合併特例債に対しての法改正があり、過疎債は、5年間の延長があり、平成32年度までとなつた。

合併特例債は、5年間延長となり29年度までとなつた。今後合併特例債借入可能額は7億円程度となります。

また、延長の理由は、昨年の東日本大震災の発生により合併市町村の実情を鑑み延長された。

問 不納欠損の理由と今後の対応は。

答 財産がない、生活困窮、所在不明者等で、この先納税が見込めないと判断した者を法令に基づき町民税・固定資産税・軽自動車税の計49件を不納欠損処分した。今後納税意識の希薄者には、納税誓約や差し押さえ処分により時効の中斷に努めます。

問 延滞金について説明を。

答

町県民税分111件77万3,100円、固定資産税分103件159万1,198円、軽自動車税分12件16,900円、計226件238万1,198円です。

問 農林産物基盤整備補助金75万円について説明を。

答 水路の取り入れ口や水路等の整備が重機でなければ実施できない場合、事業費の2分の1補助で上限30万円を補助するもので、今回15箇所分を追加した。

問 農業振興費の委託料について説明を。

答 主に、山水徳間の里指定管理料570万円と、有害鳥獣捕獲檻設置委託23万6千円です。

問 鳥獣害対策実績について説明を。

答 有害鳥獣防除柵等設置77件、サル捕獲70頭、猪捕獲101頭、鹿捕獲189頭です。



捕獲されたイノシシ

問 道路維持費の工事請負費1,000万円の内容は。

答 区からの要望124箇所の内30箇所を実施するものです。

なお、各区から要望があつた災害の応急復旧は実施する予定です。

問 平成23年度の地籍調査事業の実績及び、農業費負担

答 8軒中4軒は払い下げ、4軒は転居しました。

問 緑ヶ丘団地の払下げ状況は。

mと、2工区372mの工事費2,003万4千円と、林道維持8箇所分475万5,500円です。

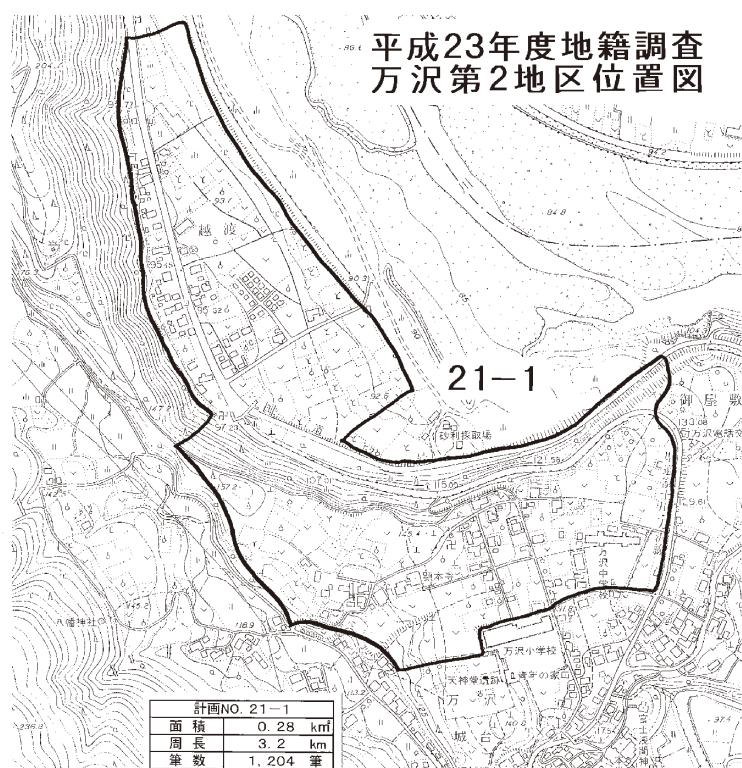
金について説明を。

答

昨年の地籍調査は、越渡から越渡山の一部・猪之原・横マクリの一部迄の調査を行い、面積は0・28km<sup>2</sup>、筆数は1,204筆でした。

また、地籍調査事業費749万円の4分の3となる561万7,500円が県負担金として歳入となっています。

問 平成23年度地籍調査事業の実績及び、農業費負担



23年度地籍調査が実施された地区

答

昨年の地籍調査は、越渡から越渡山の一部・猪之原・横マクリの一部迄の調査を行いました。

# 文教厚生常任委員会

問 医療費通知は年に何回か。

答 受診者全員の方に年4回です。

問 低所得者層の保険税の軽減のランクは。

答 7割軽減・5割軽減・2割軽減です。

問 国保税の滞納者、欠損処分対象者への家庭訪問は。

答 書類確認や短期保険証の発行また滞納者の手間を考えて、できるだけ役場に来てもらっています。

問 短期保険証の滞納のペナルティーは。

答 滞納が2期以上の世帯は資格者証を発行、受診窓口で10割負担になります。

なお、その後、申請により差額の返金が可能となります。

問 ポリオワクチンの説明を。

答 生ワクチンから不活化ワクチンに変更になり、4種混合になります。

問 老人福祉の配食サービスの回数は。

答 アンケートにより6割は現状で良いとの回答なので、のこり4割の方には他の対応を提案し、検討します。



配食サービスの調理風景



問 生ごみ処理機購入補助金の内容は。

答 ごみ収集方法の変更により、生ごみ処理機の購入希望が増えた10件分です。

問 介護慰労金給付事業の内容について説明を。

答 介護慰労金給付事業の対

象は、寝たきりの高齢者等、介護度4と5にあたる方、又は認知症で認知度3以上の方を介護する介護者に対して、月額1万円の慰労金を年3回支給しています。対象者は南部町に住所を有する方で、月15日以上在宅で介護をした方です。なお、国の介護慰労金の対象になつている方は除かれます。

**問** 福祉タクシーの利用度は高いのか。

**答** 件数としては、例年並みで4,800件です。

**問** 保育所検討委員会のメンバー構成について説明を。

**答** 町議会より文教厚生常任委員会の委員長と副委員長の2名、市民団体として区長会長と副会長の2名、民生児童委員協議会の委員長と副委員長の4名、学識経験者として教育委員長、睦合小学校長、各4保育所の保護者会長で、15名の委員です。

## ○南部町教育に関する事務の点検及び評価報告

地方教育行政の組織及び、運営に関する法律に基づき、平成23年度に行つた事業について、その政策効果、必要性、効率性等の観点から自己評価を行い、それを公表することにより住民への説明責任を果し、今後の政策課題を明確にすることは重要です。

その点検評価は次のとおりであつた。

23年3月

末に町内の3中学校を

それぞれ閉校し、4月

から既存の南部中学校

を統合した新南部中学校がスタートした。

南部中学の新しい

校歌及び、校旗・校章は、それぞれ検討委員会を立ち上げて、検討を重ねた結果、23年11月26日に、校歌・校章制定、校旗の樹立式が挙行され、その日を南部中学校の創立記念日に制定した。中学校2校の跡地利用は、地域と協議を重ねるなかで、町の方針を決めて行きたい。2校の校舎管理は、24年4月より町長部局に移管され、

山梨・青森両部町児童交流は、両町児童が、互いの町の文化や歴史、環境やふるさとの特色、両校の紹介等を通じ、新しい時代の主役となる子ども達の、交流を深めるため、毎年夏休みを利用して行われているが、本年度は東日本大震災を受け、両小学校児童の訪問交流に代わり、6年生が手紙や、ビデオの作品を届け、児童作品による交流を行つた。

また、南部中生徒会による東日本大震災ボランティア活動を本事業に位置づけ、本年独

自の交流が行われた。各種講座等を行う生涯学習や、アルカディアスポーツ施設等を利用した生涯スポーツ活動も、事業内容が充実し、明るく健康な町づくりをめざす所期の目的が達成されたと言える。



校旗



エアコンが設置された教室

# 一般質問

# ここが聞きたい!!

## 3議員が問う

問

## 町政に女性の声を

答

積極的に女性の  
社会参加を

仲亀七郎 議員



問

町内では婦人会が解散し、女性の意見を直接聞く方法が失われている。町の条例で各区に女性部長を誕生させ、直接意見を聞く体制づくりが必要だ。条例の制定を強く求めたい。

**町長** 南部町女性団体連絡協議会への加盟の団体が7団体あり、自主的活動を行なながら、町の諸行事に、ご協力をいただいています。

女性部長誕生のための提言は、対象が女性に限定されていること、合理的理由や限定的理由等の問題から

条例化は大変難しく、女性の参加ができる割合を今後、2割、3割と高めていきたいと考えている。

また、女性の声を聞く会として、女性団体連絡協議会からの招きを受けて参加する機会があるので、進んで社会参加する呼び掛けを図っていきたい。

問

少子高齢化の進行が著しいが、定住環境の整備は、人口対策として必要不可欠の課題だ。

行政の業務管理体制の強化と、町を変えていく決意と決断で、町づくり計画を進める必要がある。町長の考え方を伺いたい。

問

## 定住化環境の整備で魅力ある町に

答

若者向け住宅建設と  
宅地分譲を進める

町長

若者の流失を防ぎ、他地域からの転入を促す施策

に、若者向けの集合住宅の建設と、宅地分譲の2本を大きな柱としていきたい。

職員の意識向上と個性の把握を目的に、管理職以下の若い職員に作文の提出と個人面談を行った。

商工会青年部との意見交換会にも参加した。

自治体の生き残りをかけ、職員も民間意識を高める必要がある。



望月將名 議員

## 問 再生可能エネルギーへの提言

### 答 積極的な体制で臨む

問

東日本大震災後、原発に代わるエネルギーとして太陽光や水力、風力等に注目が集まっている。

再生可能エネルギーの固定価格買取制度も始まり、20年間を保証する国の制度も施行された。

山水徳間の里に、環境エネルギー村と称し、小水力発電所、木質バイオマス発電、風力発電、太陽光発電等の小規模なものの一箇所施設としてはどうか。

現在、小中学校では環境エネルギー教育が全国で行われている。

グリーンロッジ、民宿、奥山温泉との連携を、うまく利活用した施設を提言します。

**町長** 大震災後、脱原発の観点から、原子力エネルギーに代わる環境にやさしい再生可能エネルギーが、以前にまして注目を集め、法改正や規制緩和が進められている。県でもエネルギーの地産地消に向け、特定地域での大幅な規制緩和、予算・税制面の優遇を目的とする

総合特区申請の検討に入り、再生可能エネルギーの普及促進が急ピッチで図られている。

発電に必要な安定的な水量確保の点で危惧される。

バイオマスも今の段階では問題があるが、再生可能

北杜市では小水力発電と太陽光発電所が稼働し、早川町の町営温泉施設「ヴィラ雨煙」では、灯油ボイラート、バイオマスボイラーパークを併用して実施している。

南部町では小水力発電とバイオマスが考えられるが、

エネルギー関連企業の技術革新のスピードも上がり、安価な発電プラントの登場も近いと思われる。

町も常に新しい情報収集に努め、積極的な体制で臨んでいきたい。



小水力発電の一例



市川 強 議員

**問** 南部町は津波の心配はないが、地震の直接被害・家屋の倒壊・火災・山津波などが予想されるが、救助の際に全ての家の被害確認は難しいので、被害者にはいち早い救助が必要です。

そこで安全な家と危険な家の区別をつける必要がある。地震や災害被害があった時、被害のない家庭が軒先や、目立つ所に黄色いハンカチを掲げ、消防団や地区防災会の見回りの方が、確認・発見がいち早く出来るようにしてはどうか。

ハンカチは表が黄色・裏が赤の2色の三角巾サイズで、安全確認はもとより、ケガに三角巾とし、また2色にすることによりトリアージ（識別救急）の判定にも役立つ。

東海地震に備え、全世帯に配布する事により個別に作るより単価も下がる。町民の啓蒙・意識向上を図れるようにしたらどうか。

**町長** 黄色いハンカチ作戦は、災害時に1人も見逃さない、迅速な安全確認と支援を容易に行うため、展開されている防災・減災の一助だ。地震災害では、自助・共助で助かる割合は8~9割で、共助が防災の要とも言える。

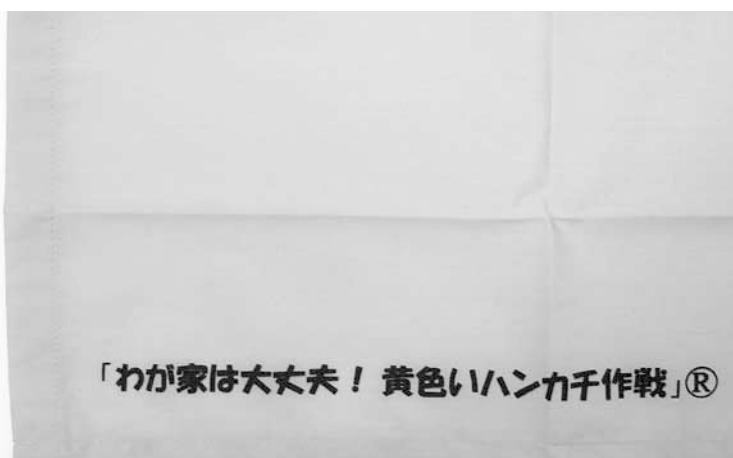
災害時に、自らの身の安全を自分で守り、近隣と共に被災者の救助・救援に努めなくてはならないが、そのためには、自主防災組織の役割は重要で強い組織を構築するよう、各区に改めてお願いしていきたい。

災害に強いまちづくりを目指すために、地域防災力

## 問 黄色いハンカチで防災安全確認を

を高める支援事業補助金を毎年、自主防災会に10万円の補助をしているが、この補助金を活用して、災害時

の安否確認手段として、被害を最小限にするために浸透していただきたいと考えている。



黄色いハンカチ

# 現地視察報告

調査日

9月  
10日  
(月)

## 調査場所



成島地区・大和地区・楮根  
地区3箇所・文京地区・皇  
月地区・富士見地区・十島  
地区

- 楠根林道竹の花線災害復旧工事予定地の視察  
(延長 58m・法面保護工  
1,763m<sup>2</sup>)

○ 文京地区町道真篠線災害復旧工事予定地の視察 (延長 237m・法面工他)  
○ 皋月地区町道西根熊線改良工事、完了の視察

## 林道竹の花線 災害復旧工事場所



- 十島地区林道佐野川線災害
  - 富士見地区町道越渡御屋敷  
線工事予定地の視察

議会の動き		7月												
25日(水)	平成23年度財政健全化審査及び決算審査	(26日まで)	26日(木)	南部町老人ゲートボール大会	27日(金)	中部横断自動車道連絡協議会監査	30日(月)	全国議会広報研修会	31日(火)	8月	1日(水)	リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会	2日(木)	峡南環境衛生組合搬入受入式セレモニー
1日(水)	リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会		2日(木)	峡南環境衛生組合搬入受入式セレモニー	3日(金)	議会広報編集委員長会議	15日(日)	文教厚生常任委員会審査	16日(月)	8月	19日(水)	秋の交通安全運動黄色い羽根の配布及び街頭指導	20日(木)	本会議3日目(閉会)例月出納検査
29日(木)	中部横断自動車道連絡協議会総会		29日(木)	富河・万沢保育所合同運動会	29日(木)	第2回広報編集委員会	19日(水)	睦合・米保育所合同運動会	20日(木)	8月	20日(木)	秋の交通安全運動黄色い羽根の配布及び街頭指導	21日(金)	本会議3日目(閉会)例月出納検査
31日(金)	国道469号建設促進期成同盟会要望活動		31日(金)	各小学校運動会	31日(金)	第3回広報編集委員会	15日(日)	富河・万沢保育所合同運動会	16日(月)	7月	18日(火)	盟会要望活動第3回定例会	19日(水)	本会議開会(1日目)
5日(水)	国道469号建設促進期成同盟会運営委員会		21日(火)	町村議会運営委員長視察(30日まで)	21日(火)	町監査委員全国研修会(7日まで)	14日(日)	第4回広報編集委員会	15日(月)	7月	19日(水)	第1回広報編集委員会	20日(木)	議員全員協議会
9月			22日(火)	福祉健康まつり	22日(火)	第4回広報編集委員会	9日(火)	福祉健康まつり	10日(水)	10月	18日(火)	盟会要望活動第3回定例会	19日(水)	本会議開会(1日目)
			23日(木)	山梨県地震防災訓練	23日(木)	第4回広報編集委員会	14日(日)	山梨県地震防災訓練	15日(月)	7月	18日(火)	盟会要望活動第3回定例会	19日(水)	本会議開会(1日目)
			24日(金)	峡南広域行政組合議会第2回	24日(金)	第4回広報編集委員会	9日(火)	峡南広域行政組合議会第2回	10日(水)	10月	18日(火)	盟会要望活動第3回定例会	19日(水)	本会議開会(1日目)
			25日(土)	町議会議員一般選挙告示	25日(土)	第4回広報編集委員会	4日(木)	町議会議員一般選挙告示	5日(金)	7月	18日(火)	盟会要望活動第3回定例会	19日(水)	本会議開会(1日目)



山梨県地震防災訓練（10月14日）

## 町民の広場

### この町に住んで

望月央乃

(徳間区南又)

事もあり、とても誇りに思います。

女人人が力飯を作り、男の人が土俵で甚句を踊り、相撲を取る姿を初めて見た時は、驚きと感動でいっぱいでした。

私が徳間に嫁いで、早いもので11年になりました。

実家の父母が、山梨県出身ということもあり、山梨とは行き来があつたために、すぐにも環境になれるかと思つていました。

しかし、しんと静まりかえり、人気もなく寂しく、ほんとうに、山の中に入ってしまったという実感が、体全体に、ひしひしと伝わつてくる毎日でした。

夜、車を走らせていると、鹿、狸が車道まで出てきて、幾度となく驚かされるのも、珍しい光景ではありません。このように自然豊かな場所であるため、夏は川遊び、キャンプ、バーベキューなどが満喫でき、温泉も身近にあり、環境には大変恵まれていると思います。

また、徳間には昔から続いている相撲甚句という伝統行



徳間区

### 南部町に住んで

千月理紗  
(内船上区古御所)



がたく感じています。

子育てにおいても、そう

した。初めてのことばかりで不安も多かつたのですが、アルファーセンターの2階で火曜日に行われていた「くれよんくらぶ」に参加すること

たくさんのママ友達を得ることが出来ました。

子どもを通じて図書館での「ノンタンの部屋」や、ぴゅあ峡南のイベントに参加したり、私の交友関係もどんどん広がっていきました。

今年、長男が南部中学校に

入学しました。小学校では同級生がたつた10人でしたが今

年の中学生は64人います。

たくさんの友達と切磋琢磨しながら日々成長していく息子を頼もしく感じる毎日です。

私の同級生も12人しかいませんでした。

南部町に嫁いで、子ども達を自分と同じような状況で育てるにになるとは思いませんでした。でも、山椒は小粒でピリリと辛い。そんな風にたくさん育つていてくれたらと願っています。

早川町出身の私にとって、南部町はとても恵まれた町でした。自転車で行動出来る範囲で生活に必要な施設がたくさんあることを、とてもあり

編集後記

▼この夏の記録的な猛暑は、多くの熱中症患者を生み、農作物にもじん大な被害を与えた。

▼国内に目を向けると、与党と野党が、互いの利己主張をゆづらず、国民不在の政争をくり広げ、国民生活をいつそ

う苦しめている姿は目に余る光景だ。

▼日本国内の混乱を見透かし中国、韓国は、竹島、尖閣諸島の領有権を主張し、上陸や日本国旗略奪等の暴挙を仕掛けってきた。

▼災害復興と原発問題は、遅々として進展なく、被災地の住民の心情を逆なでしているかのように大きく映る。

▼私達6名の広報編集委員の任期も10月末に迫り、今回発行の広報が最終となりますが、町民の皆様の絶大なるご支援とご協力を頂き、誠にありがとうございました。秋から冬に変化していく自然に体調を合わせてお暮らし下さい。

(広報編集委員会委員)

委員長 内田大明

副委員長

鍋田幹雄

旗持雅

望月将名

市川強